

今週の話題：

<世界ポリオ根絶計画 1999-2013、ポリオ伝播を阻止するプログラム (STOP) >

1988年にWHO、国際ロータリー、米国疾病管理予防センター (The United States Centers for Disease Control and Prevention: CDC)、およびユニセフの間で世界ポリオ根絶計画 (GPEI) が設立された。2012年までに1988年と比較してポリオの発生が99%以上減少し、野生型ポリオウイルス (WPV) の伝播が止められなかった国の数は3カ国 (アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタン) に減少した。しかし、地域固有WPVの伝播の持続、2000年のポリオ根絶の目標期日後におけるポリオ無発生病国で再発のため、2012年に世界保健総会 (WHA) はポリオ根絶の達成が計画的に緊急を要する事態であることを宣言した。

GPEIの重要な構成部分は、ポリオの伝播を阻止する (Stop Transmission of Polio, STOP) プログラムであり、それはWPV伝播によって影響を受ける国のために技術支援と人材派遣をするために、1999年にWHOとCDCによって開発され、開始された。

1999~2013年の間、ボランティアは69カ国で2,221人がSTOP任務に認定され、訓練を受けて、配備された。ボランティアの人数は1999~2011年の間の年間90~120人から、2012年は287人、2013年は378人に増加した。年当たりのフィールドボランティアは、1999年の273人月から2012年では1,456人月に増加した。

STOPプログラムは、国レベルの予防接種プログラムの能力を強化することと、ボランティアの集団がWHO、ユニセフ、他の公衆衛生機関のスタッフとして、その後の良い仕事をするための準備として貴重な現場経験を積ませることでGPEIを支援している。

## \* STOPプログラムの開発と実施：

1970年代に世界的な天然痘根絶プログラムの成功に寄与した重要な要因は、流行国での天然痘のアウトブレイク調査、サーベイランス、予防接種行動計画を含む国家プログラムを援助するための国際公衆衛生の現地スタッフの配備であった。1999年にSTOPはGPEIをそれと同じようなやり方で支持するために開発された。典型的なSTOPチームは、看護師、医師、疫学者、獣医と情報システムと通信の専門家を含む、多種多様な医療専門職で成り立っている。最初のSTOPボランティアはCDC職員から募集された。しかし、援助の要求に応じるために、募集は急速に拡大され、世界中からの公衆衛生専門職を含むようになった。STOPボランティアは、毎日の生活手当だけを受け取り、その他の財政的な報酬はない。WHOとユニセフは、国、州/行政区または地区レベルで予防接種プログラムのための技術支援やトレーニングを提供するために、特定の国へボランティアを割り当てる責任があり、ボランティアは配備されている間、その国のWHOとユニセフチームに監督される。

STOPにおけるフィールド任務の初期の目的は、急性弛緩性麻痺 (acute flaccid paralysis: AFP) のサーベイランスの実施と援助と大規模なポリオの補足的予防接種キャンペーンを計画し、モニタリングし、評価することであった。

フィールド任務の目的は、2002年には麻疹死亡率の低下の進展の加速と疾患サーベイランスのデータ管理システムをサポートすること、2003年には定期予防接種活動の強化を支援 (GPEI戦略の重点の1つ) すること、2006年にはユニセフの各国事務所でもポリオプログラムの通信と社会動員をサポートすること、2011年には国レベルでのポリオ予防接種とポリオ撲滅チームの管理ニーズをサポートすることに、拡大された。

STOPプログラムは3種類のボランティアを募集し配備している。WHO国家チームで働くフィールドスタッフとデータ管理者、ユニセフチームで働く通信責任者である。

2009年以降、「強化された」STOPプログラムの構成要素は、最も優先度の高い地域に地区レベルで経験豊富なシニアボランティアを配置した。3~5か月のフィールド任務に配置される前に、全てのボランティアは米国のジョージア州、アトランタのCDCで10日間の技術、安全、および異文化に関するトレーニングを受ける。

更に、通信とデータ管理のボランティアに対しては10日を超えた追加トレーニングが提供される。ナイジェリア、パキスタン、コンゴ民主共和国に配置されるボランティアは特別な管理トレーニングを受ける。

## \* ボランティアの配置の範囲：

1999年1月から2013年6月まで、1,563人のボランティアが認定され、トレーニングを受け、69カ国に2,221人のSTOPボランティアが配置された (地図1)。これらのボランティアの456人 (23%) は米国出身であった (256人はCDC職員)。フィールド任務に1802人、通信任務に217人、そして、データ管理に202人が、それぞれ配置された。

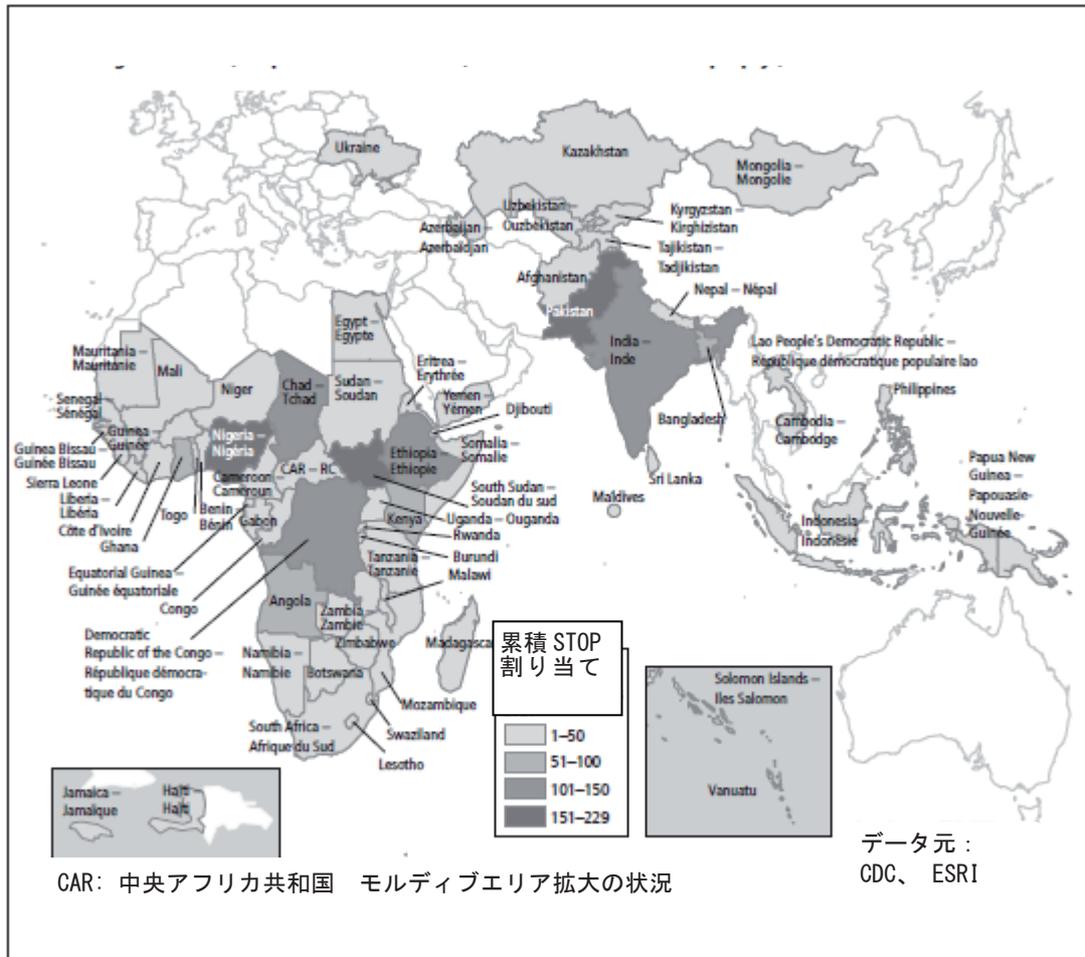
ポリオ流行国 (アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタン、以前のインド) に配置されたのは558人 (25%) であった。1,592人 (72%) は英語圏、520人 (23%) はフランス語圏、109人 (5%) はポルトガル語圏に配置された。2012年世界保健総会 (WHA) で、ポリオ根絶の計画上の緊急性が宣言され、STOPボランティア数が1999~2011年の年間90~120人から、2012年は287人に、そして、2013年は

371 人へ増加した。フィールドボランティアの人月は 1999 年の 273 人月から 2012 年は 1,456 人月に増加した。ボランティア人月の増加の一部は、何度も配備されるボランティアの人数の増加から生じている。2013 年のボランティアの 56% は、以前に STOP ボランティアとして配置されていた。2013 年 2 月に STOP チームに配置されたボランティアは 168 人であった。2013 年 7 月のチームは推定 203 人のボランティアで、これまでの最大規模の配備となる。

**\* フィールド任務活動 :**

2013 年 2 月に、フィールド任務において実施されているボランティアの活動を評価するために、2011 年 2 月から 2013 年 2 月までに配備された STOP チームの 458 人のボランティアに調査が行われた。312 人 (68%) のボランティアが質問に回答した。平均して 51% の時間はポリオ根絶活動の能力補充に費やされたことが報告された。例えば AFP 症例のための積極的サーベイランス、AFP 症例の検証、および補足的予防接種活動の微視的計画の更新である。そして、平均して 49% の時間が能力の構築に費やされたことが報告された。例えばヘルスケアワーカーを訓練することである。特定の活動で費やされた時間配分は国により様々であった。例えば、ポリオ流行国の 3 カ国でフィールド任務に就いている 82 人のボランティアでは、平均して 68% の時間がポリオに関連した活動の実施に費やされ、22% が定期予防接種の強化活動、10% がその他の健康プログラムに費やされた。対照的にポリオ非流行国でフィールド任務に就いている 230 人のボランティアでは、平均して 54% の時間がポリオに関連した活動に費やされ、31% が予防接種の強化活動、15% が保健指導活動に費やされた。

地図 : STOP プログラムフィールドの割り当て累積、国別、1999 - 2013 年



**\* 編集ノート :**

STOP プログラムは、ポリオ根絶活動を強化するための重要な技術支援を各国に提供することによって、GPEI の使命への重要な貢献を行った。各国と WHO 地域事務所からの要請に応じて、STOP は拡大し、予防接種のプログラムのための幅広い技術的支援を提供しボランティアの数は時間とともに増加した。STOP プログラムの柔軟性により、ボランティアは人的資源の隙間を埋め、活動する国による必要に応じて地域における能力強化ができた。

STOP プログラムの概念は、他の場所での訓練計画のモデルとして提供された。例えば、パキスタン (2011 年以降) とナイジェリア (2012 年以降) で、地元の医療専門職からなる国家 STOP チーム (N-STOP)

は、ポリオ根絶活動の実行を強化することに特化して訓練された。N-STOP スタッフは、国際組織にアクセスできない安全確保が困難な地域におけるそれも含めて、全体として国家 GPEI プログラムを援助している。

STOP プログラムは複数の GPEI パートナーの組織的取組である。2000～2012 年の間、カナダ政府による資金提供を受けたカナダ公衆衛生協会は CDC と協同し、STOP プログラムのためにフランス語を話す参加者を認定、募集して配置した。国際ロータリーとビル&メリンダ・ゲイツ財団 (Bill & Melinda Gates Foundation) は STOP ボランティアのフィールド任務のための資金調達に貢献した。WHO とユニセフは、地域および国家事務所通してフィールド任務を組織する。更に、パートナーはアトランタを本拠としたトレーニング期間中に技術と物流の支援提供を支援する。

GPEI のパートナーシップは、ポリオの根絶と最終段階の戦略的な計画 (2013～2018 年) で概説されている通り、ポリオの根絶、根絶認定、経口ポリオワクチンの漸次中止という期間を通して STOP プログラムを継続していく予定である。

(小西修二、關戸啓子、中澤港)